

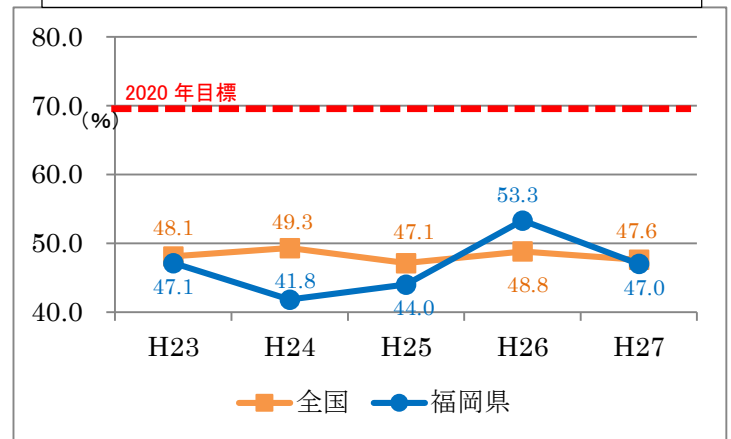


— 企業及び働く皆様へ —

10月は 年次有給休暇取得促進期間 です

平成 22 年 6 月改訂された政府の「仕事と生活の調和推進のための行動指針」では、3年後の『2020 年までに年次有給休暇の取得率を 70%に引き上げる』という目標が掲げられています。取得率の方は、図 1. のとおり全国・福岡ともに、近年 50%前後で推移しており目標達成は非常に困難な状況です。

図 1. 年次有給休暇取得率



厚生労働省〈就労条件総合調査〉注：年表示は調査年（前年実績）

図 2. のとおり有効求人倍率は平成 21 年度以来右肩上がりに上昇し、特に平成 26 年度以降は 1.0 倍を超えており、業種を問わず人手不足感が強まっています。

この様な人手不足の状況で、図 3. のとおり今春の新入社員意識調査の中で「『働き方改革』であなたが重要であると思うテーマは何か」という設問では「長時間労働の是正」と並び「有給休暇取得の促進」を約 2 割の方が選択しました。

図 2. 求人、求職及び求人倍率の推移（全国）

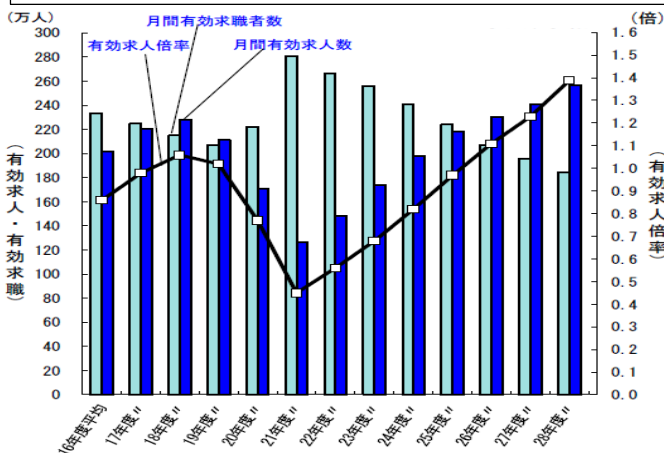
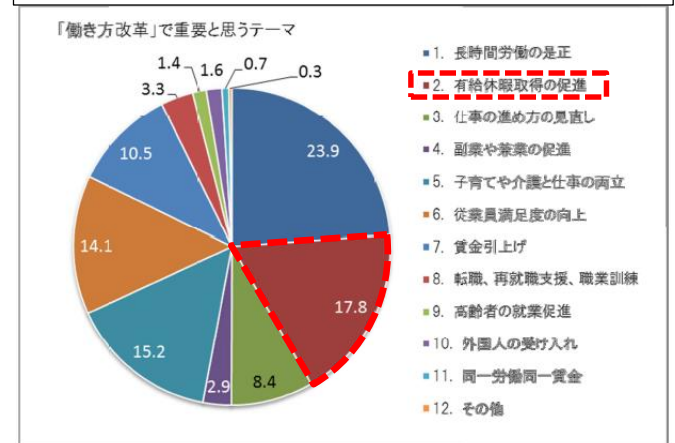


図 3. 新入社員 春の意識調査（2017 年度）



(公財) 日本生産性本部

人材確保の観点からも、休暇の取得促進は重要な要素といえます。

仕事は計画を立てて行うもの…

それでは休暇は？



キャッチフレーズ <仕事休もっ化計画>

土日、祝日に有給休暇を組み合わせて“2日(3日)+1”以上の連続休暇とすること。

(注：H26.11.18 内閣府休み方改革ワーキンググループ報告書にて提言)

年休のうち5日を超える部分は、労使協定の締結により、予め取得日を特定することができます。

<労基法第39条第6項>

労使一体となって計画的に年次有給休暇を取得しよう



働き方・休み方を変える第一歩として、「プラスワン休暇」を実施しませんか？

+1 土日・祝日に年次有給休暇を組み合わせて、連休を実現する「プラスワン休暇」。

労使協議のもと、年次有給休暇を組み合わせて、3日(2日)+1日以上の休暇を実施しましょう。



「敬老の日」の3連休の前に+1取得した例

年次有給休暇の「計画的付与制度」を活用しませんか？

年次有給休暇の付与日数のうち、5日を除いた残りの日数については、労使協定を結べば、計画的に休暇取得日を割り振ることができる制度です。この制度を導入している企業は、導入していない企業よりも年次有給休暇の平均取得率が5.3ポイント高くなっています(平成26年)※。この制度を導入することによって年次有給休暇が取りやすくなると考えられます。※政府の統計調査

1) 導入のメリット

事業主 労務管理がしやすく計画的な業務運営ができます。

従業員 ためらいを感じずに、年次有給休暇を取得できます。

2) 導入例

例えば、2017年の10月に導入すると？

年次有給休暇を土日と組み合わせて、連続休暇に。計画的付与の年次有給休暇などと土日を組み合わせて連続休暇にすることができます。また、[] 高橋みゆのような日に年次有給休暇をさらに組み合わせることで、大型連休にすることも可能です。



「体育の日」の3連休の翌日を取得日と特定した例

3) 日数 付与日数から5日を除いた残りの日数を計画的付与の対象にできます。

例1 年次有給休暇の付与日数が10日の従業員

例2 年次有給休暇の付与日数が20日の従業員

※前年年度取得された年次有給休暇に繰り越された日数がある場合には、繰り越し分を含む付与日数から5日を除いた日数を計画的付与の対象とすることができます。

4) 活用方法 企業、事業場の実態に合わせたさまざまな付与の方法があります。

方式	年次有給休暇の付与の方法	適した事業場、活用事例
一括付与方式	全従業員に対して同一日に付与	製造部門など、休業を止めて全従業員を休ませることのできる事業場などで活用
交替制付与方式	班・グループ別に交替で付与	流通・サービス業など、定休日を選べずことが難しい企業、事業場などで活用



- 昨年(年度)より、1日でも多く取得できる様、残りの期間の計画を立てましょう。
- 来年(年度)のカレンダーを策定する時期です。年次有給休暇の取得しやすさにもご配慮願います。

リーフレット：[《全国版》](#)
[《博多おくち版》](#)



- 秋祭りなど、各地でイベントが開催されます。年次有給休暇を活用して、ご家族などで参加なさってはいかがでしょうか。
- ※ 10月開催の県内各地のイベント → [こちら](#)

※ 休暇の取得促進等ワーク・ライフ・バランス推進については専門家(働き方・休み方改善)がご相談に応じます → [こちら](#)